

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年2月24日 (2011.2.24)

【公表番号】特表2009-544647(P2009-544647A)

【公表日】平成21年12月17日 (2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-521209(P2009-521209)

【国際特許分類】

C 0 7 C 4/06 (2006.01)

C 0 7 C 11/04 (2006.01)

C 0 7 C 11/06 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 4/06

C 0 7 C 11/04

C 0 7 C 11/06

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月13日 (2010.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも25重量%のC 5+パラフィンを含むフィードストックを結晶質ケイ酸塩触媒を収容した反応装置を通過させてプロピレンを含む流れを生産することを特徴とする、炭化水素フィードストックを軽質オレフィンを含む流れに変換する炭化水素フィードストックの転換方法。

【請求項 2】

C 4 + パラフィンを含むC 4 + 炭化水素フィードストック・カットに、少なくとも一種のC 6+パラフィンを加えて炭化水素フィードストックを形成する段階をさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

上記の少なくとも一種のC 6+パラフィンが少なくとも一種のC 6 ~ 20 直鎖パラフィンを含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

炭化水素フィードストックが1 ~ 80 重量%の少なくとも一種のC 6+パラフィンと、20 ~ 99 重量%のC 4 + パラフィンを含むC 4 + 炭化水素フィードストックカットとから成る請求項 2 または 3 に記載の方法。

【請求項 5】

炭化水素フィードストックが少なくとも一種のC 4 + オレフィンを含む請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

結晶質ケイ酸塩が珪素 / アルミニウム原子比が120 ~ 1000 であるM F I - タイプまたはM E I - タイプの結晶質ケイ酸塩である請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 7】**

MFI - タイプの結晶質ケイ酸塩wシリカライト (silicalite) から成る請求項 6 に記載の方法。

**【請求項 8】**

炭化水素フィードストックを反応装置入口での温度を 500 ~ 600 にして結晶質ケイ酸塩上を通過させる請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 9】**

炭化水素フィードストックを液体空間速度 (LHSV) を 5 ~ 30 h<sup>-1</sup> にして結晶質ケイ酸塩上を通過させる請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 10】**

炭化水素フィードストックを 0 ~ 2 バールの圧力で結晶質ケイ酸塩上を通過させる請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。